

発信します！小郡市の教育「小・中学校の実践」

小学校では平成23年度から、中学校では本年度から新しい学習指導要領が実施されています。各小・中学校では、子どもたちの『生きる力』の育成をめざし、知徳体をバランスよく育むために日常的に校内研究が進められています。

昨年秋、三つの小・中学校で研究発表会が行われました。各校の取り組みをご紹介します。

【小郡市教育委員会研究指定・委嘱研究テーマ】

御原小「自尊感情を高める算数科学習指導」
三国中「思考力・表現力を高める学習指導の在り方」

【文部科学省指定道徳教育総合支援事業研究テーマ】

東野小「自分を見つめ、心豊かに、
よりよく生きる子どもを育てる道徳教育」

自他の考えのよさを認め合う学習活動

御原小学校



お互いの考え方を教え合います(算数の授業)

御原小では、算数の学習を中心に、自他の考えのよさを認め合う学習活動が行われています。

低学年では、計算ブロックなどを具体的に操作し、自分の計算方法をつくり、同じクラスの友だちに説明する活動を、中学年では、買い物場面などで買い方を考えて計算し、ペアや全体で計算の仕方を話し合う活動を、高学年では、分数や比例・反比例のきまりを追究し、自分の考えを友だちと交流し、確かに行われていく活動などが行われています。



全体交流で考えを確かに

この活動を通して筋道を立てて考えたことをノートにまとめることができる子どもたちや自分の考えを意欲的に発表し合う子どもたちが、しっかりと育っています。

子どもたちは互いに認め合うことで、自分の考えに自信をもったり、学習活動に成就感や充実感を味わったりして子どもたちの自分への自信や自分を価値あるものととらえる自尊感情が少しずつに高まっています。

友だちの考えにふれ、より深まった 自分の考えを表現する学習活動

三国中学校



交流活動で自分の考えを表現

三国中では、子どもたちの思考力・表現力を高めるために、論理や思考、コミュニケーション・シジョン、感性・情緒の基盤となる言語活動を位置づけた学習活動が行われています。

各教科の授業では、交流を通して友だちの考えにふれ、より深まった自分の考えを表現する学習活動が行われています。

この関係について、グラフから分かったことを個人で考えた後に、班や全体で考えを出し合い、最後に自分でどの店にするかの考えを書いて発表するという活動などが行われています。

また、一年社会の「金印から弥生時代の社会を探ろう」の学習では、資料や遺跡、遺物から読み取れることを個人で考えた後、班で交流することを通して、個人の考えを広め、歴史を多面的・多角的に捉えていく活動などが行われています。

このように、子どもたちが分かる授業、基礎・基本を確実に身につける授業、生徒一人ひとりのよさや可能性を認め、伸ばす授業を行っています。

子どもたちは、友だちの考えを認め、しっかりと聞く力や、自分の考えを論理的に説明・表現する力が着実に育っています。

子どもたちに伝える郷土愛や学校愛

東野小学校

東野小では、ふるさとの「ひと・もの・こと」を教材化し、道徳教育に活かすことで、子どもたちの郷土愛や学校愛などを育てています。

例えば、高学年では、市民祭りの運営などに携わる人を招き、祭りを続ける意義などを話してもらい、ふるさとへの思いにふれ、自分たちのふるさとへの思いを見直す学習を行っています。



地域の人とふれあう道徳



体験活動でいのちの大切さを学んでいます

の安全に関わっている人たちに道徳の時間に登場してもらい、話を聞くことで、東野校区に対する愛着や愛情を学ぶことができている。

このように、地元の人たちの話を聞くことで、ふるさとへの愛情・愛着を育むとともに、子どもたちと地域とのふれあいが増しており、子どもたちに地域の一員としての自覚が芽生えています。

教育委員会より

市の小・中学校の先生は日々熱心に学力向上に向けた「授業づくり」に取り組んでいます。

今回紹介した研究発表会でも、小・中学校をこえて「市内研修」の場として多くの先生が参加し、お互いの活動を交流し合うことができました。

このような取組みを踏まえながら、子どもたちの確かな学力や豊かな心、健やかな体などの育成や市の小・中学生のさらなる学力向上を目指していきます。

今後とも保護者・地域の皆さんの各学校へのご支援をよろしくお願い致します。

● 問合せ先 教務課教務係

☎ 72・2111 内線 515



障害児の“スプリングスクール”

… 参加者・ボランティアスタッフ募集 …

- 申込・問合せ先 小郡市障害者生活支援センターサポネットおごおり(あすてらす内)
☎ 兼ファクス72-3175 〒838-0126 小郡市二森1167-1

26期目となる“スプリングスクール”を、この春休みに開催します。障害のある小・中学生および高校生を対象に、レクリエーション活動を通して障害児同士やボランティアとの交流、また、保護者の交流も深めていきます。

その参加者・ボランティアスタッフを募集します。

- 日時 3月25日(月)、28日(木)／午前9時～午後4時
- 会場 総合保健福祉センター「あすてらす」多目的ホールほか

参加者

- 対象者 市内在住の障害のある小・中学生および高校生
 - 参加費 600円/日
(※昼食、水筒、着替え、タオルなどが必要です。)
 - 定員 12人/日
- ※応募多数の場合は抽選、3月12日以降に連絡します。

ボランティアスタッフ

- 対象者 障害児(者)福祉に関心のある高校生以上の大人
- 募集人員 24人/日(※昼食は準備します。)

共通事項

- 申込方法 来所、電話またはファクス
 - 申込締切 3月12日(月)
- ※参加者の保護者・ボランティアスタッフ向けに説明会を3月20日(水・祝)の午前中に「あすてらす」で行います。
- 主催 グローカルネットワークおごおり
- ※サポネットおごおり、こぐま福祉会、市社会福祉協議会および市福祉課の4者によるネットワークです。